

エソメプラゾールカプセル「DSEP」

を服用される患者さんとご家族の方へ

成人

このお薬は、胃酸分泌の最終過程である
プロトンポンプに作用し、胃酸分泌を抑制します。

□ エソメプラゾールカプセル 10mg「DSEP」

表



裏



□ エソメプラゾールカプセル 20mg「DSEP」

表



裏



●カプセルは実物大です。

エソメプラゾールカプセル「DSEP」を服用される前に

次のような方は、服用前に必ず医師または薬剤師にお伝えください。

- 以前にお薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある方。
- 肝障害がある方。
- 妊婦、妊娠している可能性がある方、または授乳中である方。
- 他のお薬を使用している方（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

（裏面も必ずお読みください）

服用方法について

- 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison症候群：通常、成人は1回10mg×2カプセルまたは1回20mg×1カプセル(20mg)を1日1回服用します。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では8週間まで、十二指腸潰瘍では6週間までの服用とされています。
- 逆流性食道炎：通常、成人は1回10mg×2カプセルまたは1回20mg×1カプセル(20mg)を1日1回服用します。なお、通常、8週間までの服用とされています。さらに、再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法では、1回エソメプラゾールとして10～20mgを1日1回服用します。
- 非びらん性胃食道逆流症：通常、成人には1回10mg×1カプセル(10mg)を1日1回服用します。なお、通常、4週間までの服用とされています。
- 非ステロイド性抗炎症薬・低用量アスピリン投与時における胃潰瘍または十二指腸潰瘍の再発抑制：通常、成人は1回10mg×2カプセルまたは1回20mg×1カプセル(20mg)を1日1回服用します。
- 飲み忘れた場合は、気がついた時に1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして、次の服用時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。

医師または薬剤師の指示なしに、自分の判断で服用を中止したり、量を減らしたりすると、病気が悪化することがあります。指示通りに飲み続けることが重要です。

服用中に注意していただきたいこと

次のような症状がみられましたら、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

主な副作用として、肝機能異常、発疹、皮膚炎、そう痒症、蕁麻疹、腹痛、下痢、嘔吐、便秘、口内炎、カンジダ症、口渇、頭痛、傾眠、めまい、味覚障害などが報告されています。

まれに次のような症状があらわれる可能性があります。このような場合は、使用をやめてすぐに医師の診療を受けてください。

- 呼吸困難、蕁麻疹、顔・くちびる・舌などがはれる【ショック、アナフィラキシー】
- 体がだるい、発熱、鼻血・皮下出血【汎血球減少症、無顆粒球症、溶血性貧血、血小板減少】
- 吐き気や嘔吐、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる【劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、肝不全】
- 発熱、全身倦怠感、皮膚・眼・口内に発疹ができる・赤くなる【中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群】
- 発熱、咳、息切れ【間質性肺炎】
- 発熱、発疹、関節の痛み【間質性腎炎、急性腎障害】
- 手足の筋肉の痛み、こわばり、しびれ、赤褐色尿【横紋筋融解症】
- 吐き気や嘔吐、けいれん、頭痛、意識障害【低ナトリウム血症】
- 意識が乱れ正常な思考ができなくなる、考えがまとまらない、幻覚【錯乱状態】
- かすんで見える(霧視)【視力障害】

上記以外にも気になる症状があらわれた場合は、医師または薬剤師に相談してください。

日常生活で注意していただきたいこと

- セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)を含む健康食品、健康飲料、サプリメント、ハーブティーなどは、このお薬の働きを弱める可能性があるので注意してください。

連絡先(医療機関名)



第一三共エスファ株式会社

EPES01P00101-1

2022年12月作成